

これが欲しい! No.1

写真上から蜂蜜スプーン 6,000円、マドラー 4,500円、スプーンゆったり(大)12,000円、スプーンゆったり(小)5,000円、ティースプーン4,000円、フォークゆったり(小)5,400円



佐竹清光さんのスプーン類は、山中漆器伝統産業会館(石川県加賀市山中温泉塚谷町イ-268-2、Tel.0761-78-0305) 木と漆のカトラリー彩庵(ネットショップ <http://cutlery-saian.com/> Tel. 0761-77-7155)で購入できます。

漆塗りのスプーンを使うことは悦楽である。ステンレスなどの金属スプーンと比べると、手に持った時の軽さ、木と漆の優しさ、そして、口に入れた時の唇や舌の、敏感な粘膜に触れる漆塗りの滑らかさが感動的だ。一度この喜びを味わうと、もう二度と金属のスプーンには戻れなくなってしまふのだ。さて、佐竹清光さんの漆塗りのスプーンである。轆轤ろくろの技術に優れた山中塗の世界では、佐竹さんのようにスプーンなどを主に手がける作家さんは数少ない(というか一人だけ?)。佐竹さんはご自身で山に入り、桜蔦、黒文字、

佐竹清光さんの漆塗りのスプーン

写真・文 タカヤナギユタカ

檀などの木を集め、それを斧で割ったものを小刀で1本1本削り出す。ノコギリを使わずに斧で割るのは、木の目、性質に逆らわないため。だから、製品になっても湿度や温度で木が狂って変形することがないのだ。佐竹さんのスプーンには、塗りにもこだわりがある。拭き漆で木固めして、その後に素黒目漆すくろめという、油を加えずに精製した最上級の漆で仕上げている。漆が本来持つ独特の艶が出るのだ。まあ、とにかく手間がかかる仕事をされている。聞くところによると、1日に2本のスプーンを仕上げるのがやっとだそう。スプーンもフォークも、その機能だけを考えれば100円ショップでそれを満たすものが買える。だが、使う喜び、食べる喜び、生活の潤いを考えれば、何から何まで手作りの漆のスプーンは決して高いものではないと思うのだけど、どうだろうか。もし、まだ漆塗りのスプーンを使つたことがない人がいたら、騙されたと思って是非とも使ってみて欲しい。お粥とかマーボ豆腐、カレーやシチューもいいし、アイスクリームなどのデザートも漆のスプーンで食べると美味しさが増するように感じるはずだから。

表紙写真 タカヤナギユタカ
モデル:中田周代(リトルバインシアター)
場所:小松市安宅海岸

加賀日和 vol.2



CONTENTS

P37	P36	P32	P30	P28	P26	P24	P22	P20	P12	P10	P03
南加賀の12ヶ月	編集後記	地図あります	つくる・人 山下一三さん(磁器工房 白象)	温泉に入ろう 山代温泉 葉渡莉	南加賀「喰いもん放浪記」 加佐ノ岬倶楽部	日本酒。その一滴に出会うまで	南加賀文学散歩 渡野玖美 「花塗りの里」 山中温泉	おやつ日和	まちのお店屋さん デリカテッセンレ・アール	エッセイ「愛しの南加賀」 那谷寺 木崎馨山	これが欲しい! 佐竹清光さんの漆塗りのスプーン
								P14		P04	
								大聖寺まちめぐり		歌舞伎のまちのミュージカル劇団	